

2020年度 課別行政評価シート

部名	文化スポーツ振興部	課名	国際版画美術館	歳出目名	国際版画美術館費
			事業類型	d:事業型(施設運営・受益者負担)	

1.組織概要

組織の使命	優れた美術作品に触れる機会、および学習、創作、発表を通して美術に親しむ機会と環境を提供します。また、貴重な文化財である版画作品を収集・保管し、市民の財産として未来に伝えます。	取組自治体等の	版画工房の一般開放。 (近隣の美術館で同様の取り組みをしているのは横浜美術館のオープンスタジオ版画室のみ) ◆年間利用者数 横浜美術館 1,801人(2018年度実績) 国際版画美術館 2,631人(2018年度実績)					
所管事務	◆美術作品等の収集、保管及び展示、講演会等の事業の企画及び実施に関すること。◆版画に関する専門的、技術的な調査研究及び情報の提供、美術に関する教育普及及び広報活動に関すること。◆市民の美術学習及び団体活動の援助、施設及び設備の貸出し及び維持管理に関すること。							
基本情報	根拠法令等 町田市立国際版画美術館条例							
		2018年度	2019年度	2020年度	施設の名称	町田市立国際版画美術館		
	利用料金収入 (単位:千円)	16,869	14,519	10,929	建設年月日	1986年8月1日		
	受益者負担比率	4.8%	4.0%	3.3%				
					2018年度	2019年度	2020年度	
					有形固定資産減価償却率	34.1%	35.5%	35.7%

2.2019年度末の総括

①「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

◆観覧者数と観覧料収入が減少したことから、展覧会やイベントを実施する際にはインターネットやSNSをはじめとして様々な手法により国際版画美術館の魅力を情報発信する必要があります。◆行政収入の増加に向けて、助成金などの積極的な獲得が求められています。◆多くの人に訪れてもらうため、美術館へのアクセス方法について検討する必要があります。◆新型コロナウイルスの影響による臨時休館を契機として新しい美術鑑賞の方法やイベント実施の手法について検討する必要があります。

②課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

◆来館者数の増加を図るため、Instagramによる動画配信を行うなど、幅広い層の関心を集める情報発信をするほか、インターネット上での検索キーワードを活用したWEB広告など集客に向けた新たな広報活動に取り組みます。◆来館者の増加にむけて展覧会の期間に合わせた無料シャトルバスを運行します。◆オンラインでも美術鑑賞を楽しんだり、イベントに参加できる取り組みについて検討します。

3.事業の成果

成果指標名	単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
国際版画美術館展覧会観覧者数	人	目標	107,000	122,000	46,086	93,000	93,000	企画展および常設展示室ミニ企画展の観覧者数の合計
		実績	114,069	106,077	71,465		(2021年度)	
観覧料、施設使用料、特別観覧手数料収入	千円	目標	20,000	21,000	12,000	22,000	22,000	企画展観覧料、施設使用料、特別観覧手数料の合計額
		実績	16,869	14,519	10,929		(2021年度)	

◆2020年度は6件の企画展と4件のミニ企画展を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により3月28日から6月8日まで臨時休館となったことなどにより、年間の展覧会観覧者数は2019年度より34,612人減少し、観覧料や施設使用料などの収入も3,590千円減少しました。◆「インプリントまちだ2020」展は2020年美連協大賞「奨励賞」を受賞しました。◆6月から11月にかけて展覧会の開催に合わせた無料シャトルバスを運行し、延べ2,459人の利用がありました。◆ZoomやInstagramのライブ配信によるオンラインでのイベントを開催し、延べ275人の参加がありました。◆新たに美術館連絡協議会美術館活動助成金を獲得しました。

4.財務情報

①行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	2018年度	2019年度	2020年度	差額	勘定科目	2018年度	2019年度	2020年度	差額
		A	B	B-A			A	B	B-A
人件費	128,036	132,064	123,226	△ 8,838	地方税	0	0	0	0
うち時間外勤務手当	7,966	10,015	10,289	274	保険料	0	0	0	0
物件費	128,757	145,238	132,144	△ 13,094	国庫支出金	0	0	0	0
うち委託料	90,974	103,093	104,105	1,012	都支支出金	800	600	0	△ 600
維持補修費	18,422	6,256	4,002	△ 2,254	分担金及負担金	0	0	0	0
扶助費	0	0	0	0	使用料及手数料	16,869	14,519	10,929	△ 3,590
補助費等	16,783	5,407	12,352	6,945	その他	17,881	15,492	9,275	△ 6,217
減価償却費	54,543	56,285	56,285	0	行政収入 小計(a)	35,550	30,611	20,204	△ 10,407
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	△ 318,469	△ 331,524	△ 315,027	16,497
賞与・退職手当引当金繰入額	7,478	16,885	7,222	△ 9,663	金融収支差額(d)	△ 281	△ 262	△ 238	24
行政費用 小計(b)	354,019	362,135	335,231	△ 26,904	通常収支差額(c)+(d)=(e)	△ 318,750	△ 331,786	△ 315,265	16,521
特別費用(g)	0	0	7,600	7,600	特別収入(f)	1,665	0	147,686	147,686
特別収支差額(f)-(g)=(h)	1,665	0	140,086	140,086	当期収支差額(e)+(h)	△ 317,085	△ 331,786	△ 175,179	156,607

②行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	総合管理委託料 70,858千円 光熱水費 11,349千円 ポスター等作成委託料 5,775千円 ディスプレイ作成委託 4,704千円 など	決算額の主な内訳	「インプリントまちだ展2020」負担金 6,350千円 講座講師謝礼 1,142千円 施設使用料還付金 964千円 「ゆうゆう版画美術館まつり」負担金 850千円 など
主な増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館の影響により、光熱水費の減少や、予定していた展覧会の延期で通信運搬費が減少したことなどから全体で13,094千円減少。	主な増減理由	2020年度は新聞社との共催で展覧会を開催したため、負担金が6,350千円増加。補助費全体では6,945千円増加。
勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	非常用発電設備修繕 1,412千円 空調機二方弁交換修繕 638千円 施設案内標識撤去修繕 550千円 消火栓ポンプ修繕 375千円 など	決算額の主な内訳	地域の文化・芸術活動助成事業助成金 5,200千円 物品売払収入 1,863千円 美術館連絡協議会美術館活動助成金 500千円 講習会等参加費 500千円 など
主な増減理由	高圧ケーブル及び区分開閉器更新工事を行わなかったこと等により、2,254千円減少。	主な増減理由	新たに美術館連絡協議会助成金を獲得できたことなどから助成金獲得額は2,563千円増加。展覧会の延期に伴う図録販売収入の減少などから全体では6,217千円減少。

③単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、各年度の「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	対前年度	単位あたりコストの増減理由
国際版画美術館年間入館者数1人あたりコスト	人	2020	107,022	3,132	897	新型コロナウイルス感染症の影響により年間の入館者数が減少したため、入館者数1人あたりのコストは2019年度よりも897円増加しました。
		2019	162,035	2,235	253	
		2018	178,656	1,982		
開館1日あたりコスト	日	2020	248	1,351,738	144,621	行政費用が減少したものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館により、開館日数が減少したことから、1日あたりのコストが2019年度よりも144,621円増加しました。
		2019	300	1,207,117	50,192	
		2018	306	1,156,925		

④貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2019年度末 A	2020年度末 B	差額 B-A	勘定科目		2019年度末 A	2020年度末 B	差額 B-A
流動資産	未収金	0	0	0	流動負債		20,897	20,189	△ 708
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金		0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	地方債		12,967	12,967	0
固定資産	有形固定資産	1,183,852	1,127,996	△ 55,856	賞与引当金		7,930	7,222	△ 708
	土地	0	0	0	その他の流動負債		0	0	0
	建物(取得価額)	2,258,181	2,258,181	0	固定負債		230,687	210,820	△ 19,867
	建物減価償却累計額	△ 1,337,341	△ 1,393,197	△ 55,856	地方債		125,208	112,242	△ 12,966
	工作物(取得価額)	263,012	263,012	0	退職手当引当金		105,479	98,578	△ 6,901
	工作物減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債		0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	繰延収益		0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	長期前受金		0	0	0
	土地	0	0	0	負債の部合計		251,584	231,009	△ 20,575
	工作物(取得価額)	0	0	0	純資産		2,342,205	2,446,226	104,021
工作物減価償却累計額	0	0	0						
無形固定資産	0	0	0						
建設仮勘定	0	0	0						
その他の固定資産	1,409,937	1,549,239	139,302	純資産の部合計		2,342,205	2,446,226	104,021	
資産の部合計	2,593,789	2,677,235	83,446	負債及び純資産の部合計		2,593,789	2,677,235	83,446	

⑤貸借対照表の特徴的事項

勘定科目	建物(事業用資産)	勘定科目	工作物(事業用資産)	勘定科目	その他の固定資産
決算額の主な内訳	美術館 2,258,181千円	決算額の主な内訳	屋外彫刻4点 263,012千円	決算額の主な内訳	収蔵美術品 1,447,953千円 定額運用基金 100,000千円 リトグラフ用プレス機 1,286千円
主な増減理由	減価償却により、55,856千円減少。	主な増減理由	美術工芸品類は減価償却対象外資産。	主な増減理由	過年度の寄贈資料の登録などにより、収蔵美術品は139,731千円増加。プレス機の減価償却により429千円減少。

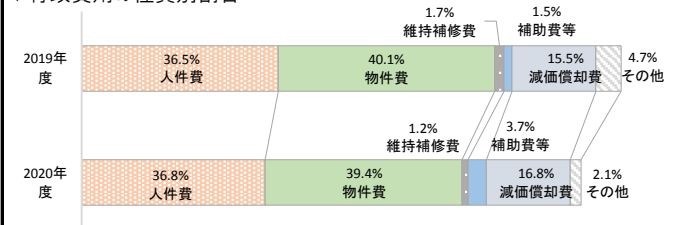
⑥キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	20,204	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	284,989	社会資本整備等投資活動支出	1,449	財務活動支出	12,967
行政サービス活動収支差額(a)	△ 264,785	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	△ 1,449	財務活動収支差額(c)	△ 12,967
				収支差額 合計 (a)+(b)+(c)	△ 279,201
				一般財源充当調整額	279,201

5.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合

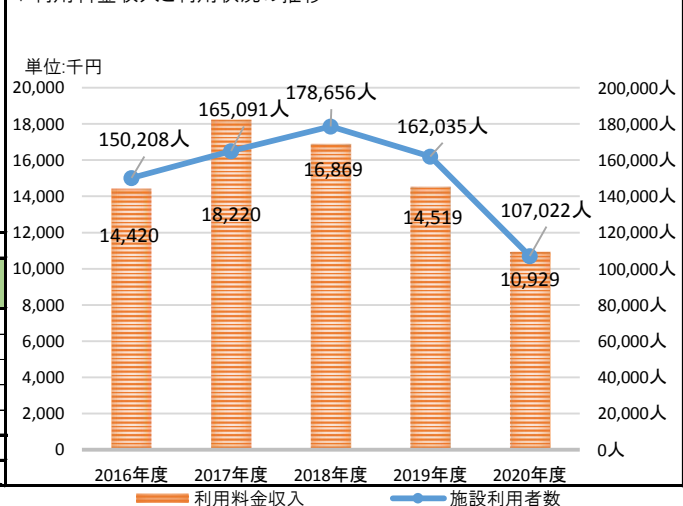


▽事業に関わる人員

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	会計年度 (業務)	会計年度 (補助)	2020		2019	
						合計	合計	合計	合計
管理事務	6.2			1.3	7.5	7.7			
展示事業	4.4			1.0	5.4	6.1			
ハイビジョン事業					0.0	0.0			
普及事業	2.4			1.5	3.9	4.1			
2020年度 歳出目 合計	13.0	0.0	0.0	0.0	3.8	16.8	17.9		
2019年度 歳出目 合計	16.0	0.0	0.0	0.2	1.7	17.9			

6.個別分析

▽利用料金収入と利用状況の推移



7.総括

①成果および財務の分析

◆2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全体の展覧会観覧者数は約33%減少し、観覧料や施設使用料などの収入も約25%減少しました。◆行政費用については、補助費が増加したものの、物件費や維持補修費が減少したことにより26,904千円減少しました。◆行政収入については、地域の文化・芸術活動助成事業助成金や新たに美術館連絡協議会美術館活動助成金を獲得できたため助成金獲得額が増加しました。しかし、観覧料収入や物品売払収入の減少などにより全体では10,407千円減少しました。

②新型コロナウイルス感染症の影響、対策および財務への影響の分析

◆3月28日から6月8日まで臨時休館としたことから、全体の展覧会開催日数が39日減少しました。◆臨時休館になったことなどにより観覧者数が減少したことから、観覧料収入が約54%減少しました。◆館内消毒用及び来館者手指消毒用の消毒液のほか、非接触型検温器や飛沫感染対策用アクリル板の購入により744千円支出いたしました。◆臨時休館や感染拡大防止のため利用を中止した施設利用者に対する還付額が1,350千円となりました。

③2020年度末の「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

◆感染防止対策を徹底するとともに、展覧会やイベントを開催する際にはインターネットやSNSをはじめとして様々な手法により国際版画美術館の魅力を情報発信するなど、来館者の増加につなげる取り組みが必要です。◆行政収入の増加に向けて、助成金などの積極的な獲得が求められています。◆多くの人に訪れてもらうため、美術館へのアクセス方法について検討する必要があります。◆新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館を契機として美術鑑賞の方法やイベント実施の手法についてオンラインの活用を検討する必要があります。

④課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

短期的な取り組み(1~2年)	中長期的な取り組み(3~5年)
◆積極的にSNSを活用し幅広い層に情報発信を行うなど、来館者数の増加に向けた広報活動に取り組みます。◆来館者の増加にむけて展覧会の期間に合わせた無料シャトルバスを運行します。◆オンラインでも美術鑑賞を楽しむため、イベントに参加できる取組みについて検討します。	◆「芹ヶ谷公園」芸術の杜”構想を実現させるため、(仮称)国際工芸美術館と連携した展覧会の実施や、「子どもと体験」というコンセプトを取り入れたプログラム等の実施を検討します。◆作品鑑賞動画の作成など、WEBコンテンツの充実により、多様な美術館の楽しみ方について検討します。

2020年度後半から2021年度前半 作品収集状況

2020年度後半

◇移管作品

No	作品概要	点数	評価額 (円)
1	町田市立博物館移管作品	1,060	162,536,230
(小 計)		1,060	162,536,230

◇寄贈作品

No	作品概要	点数	評価額 (円)
2	荒木珠奈作品	17	510,000
3	横尾忠則作品	1	500,000
4	第45回全国大学版画展美術館賞受賞作品	7	70,000
(小 計)		25	1,080,000

合計 1,085 163,616,230

2021年度前半

◇移管作品

No	作品概要	点数	評価額 (円)
1	瀟湘八景図屏風	1	19,000,000
(小 計)		1	19,000,000

◇寄贈作品

No	作品概要	点数	評価額 (円)
1	フランチェスコ・バルトロツツイ(版刻) 版画	1	150,000
2	石井佛心、岸田劉生 掛幅、画帖	4	1,700,000
3	川瀬巴水 版画	1	150,000
4	川上澄生ほか近代版画	19	406,000
5	馬淵聖 版画	2	30,000
6	ソニア・ドローネーほか西洋現代版画	3	750,000
7	アグン・プラボウォ 版画	1	80,000
8	村上早、白木ゆり 版画	6	1,650,000
(小 計)		37	4,916,000

◇寄贈資料

No	作品概要	点数	申出者名(敬称略)
1	木口木版資料	83	100,000
2	ヴィクトル・ヴァザルリ関連資料	1	20,000
(小 計)		84	120,000

合計 122 24,036,000

2021年度国際版画美術館事業報告書【展覧会版】

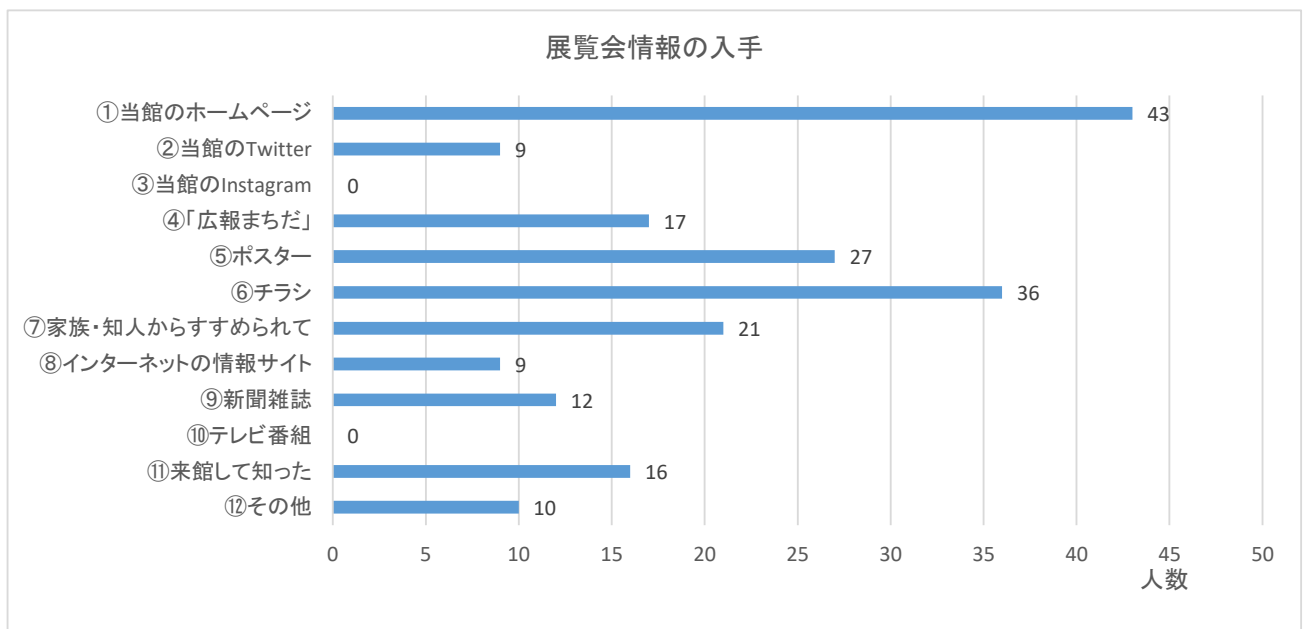
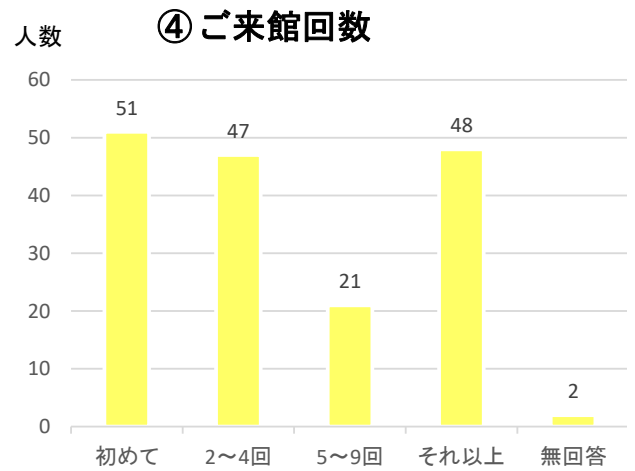
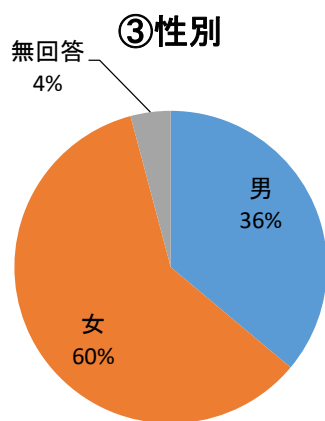
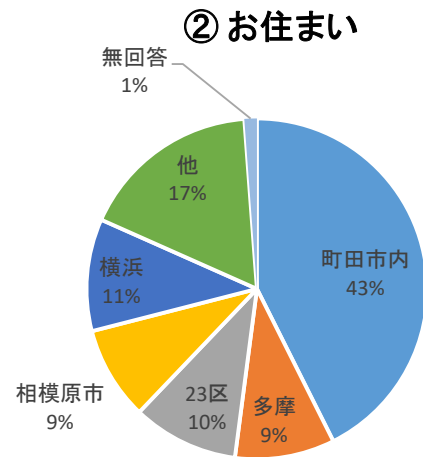
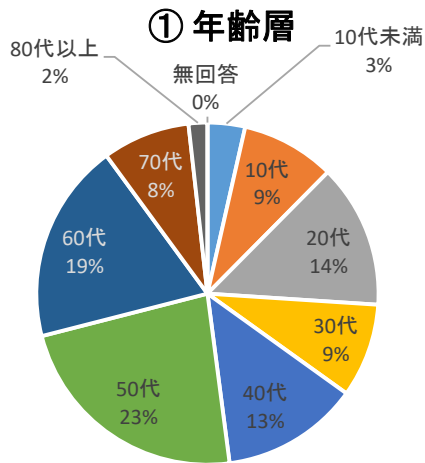
展覧会名	アーティストたちの室内画 —見慣れない日常—		担当者名	高野詩織・町村悠香								
会期	2021年3月13日(土)～4月11日(日)		開催日数	26日								
協賛・後援・協力	なし											
巡回館	なし											
展覧会概要	プライベートな部屋を描いた「室内画」をテーマに、近現代西洋の版画作品約140点を紹介する企画展。近年日本で人気を集めている19世紀末フランスの前衛画家グループ「ナビ派」や、サルバドール・ダリを筆頭とするシュルレアリスム、戦後アメリカのポップ・アートなど、知名度の高いアーティストの名品を中心に、18世紀から20世紀までの室内画の歴史をたどった。											
ねらい・対象	近年は展示機会の少なかった当館の近現代西洋版画コレクションを幅広く紹介することをねらいとした。春休みや花見のシーズンに重なるため、高校生・大学生や日ごろ美術館に足を運ばないライト層を対象に、インパクトのある広報物と簡潔で読みやすい解説文を心掛けた。											
関連催事	催事名	開催日	タイトル	講師等	参加者数							
	記念講演会	3月20日(土)	『密』な世界—モダン・アートにおける室内	天野知香	39人							
	室内楽コンサート1	3月14日(日)	弦楽四重奏	Quartet Paradox	74人							
	室内楽コンサート2	10月6日(日)	サクソ四重奏	ハッピー☆マッキーSAXカルテット	87人							
	ギャラリートーク	3月21日(日)、4月3日(土)	担当学芸員によるギャラリートーク	当館学芸員 高野詩織	18人、12人							
観覧料	一般	大・高生										
	800円	400円										
観覧者数	有料計	無料計	総観覧者数	内、一般	内、大・高生	内、小・中生	内、その他					
	2,698人	898人	3,596人	3,171人	246人	179人	—人					
目標値(新型コロナウイルス感染対策のための目標修正以前の当初目標値)				2104(3040)人								
主な収入	観覧料収入	図録販売収入	受託販売収入	その他の特定財源								
	2,647千円	0千円	6千円	0千円								
事業経費	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 ・展覧会協力謝礼 ・通信運搬費 ・作品額装委託料 ・広告宣伝委託料 ・ポスター等作成委託料 ・ディスプレイ作成委託料 ・ポストカードブック作成業務委託料 			130千円	100千円	496千円	384千円	495千円	776千円	539千円	320千円	3,240千円
主な広報・取材等の講評	【テレビ】J:COM 【新聞・雑誌】東京新聞(3月28日「カジュアル美術館」欄)、月刊ギャラリー、美術の窓、ヘイルメリーマガジンほか 【ウェブ】ファッション・プレス、インターネットミュージアム、OBIKAKEほか											

アンケート結果	回収数	回収率	市民率	リピーター率	満足度(とても良かったと良かったの率)		
					企画の内容	展示作品	展示の仕方等
	169 件	4.7 %	43 %	70 %	91.2 %	92.8 %	87.9 %
	主なご意見	別紙のとおり。					
工夫と反省点、改善方法	予備調査	2019年4月から当館の西洋現代版画コレクションについて調査し、展覧会の目玉となる大型作品の候補を絞った。同年10月頃に展覧会のテーマを「室内画」に定め、「プライベートな室内」を中心テーマとする研究書や、当館の過去の展覧会カタログを参照し企画書をまとめた。					
	作品選択	20世紀以降の西洋現代版画を中心に、当館収蔵品から約140点を選定した。パブロ・ピカソ、デイヴィッド・ホックニー等の著名なアーティストの作品と併せて、マイナーな現代作家の良品も紹介するよう心掛けた。西洋の現代作品は著作権料が高額となるため、18～19世紀の著作権切れの作品や、日本の作品を付け加えたことも工夫点である。来館者アンケートでは、特定の作品を当てとするとする来館者が多くいる一方で、これまで当館の展示機会のなかった珍しい作品が見られてよかったという声もリピーターから寄せられた。					
	リーフレット	無料配布のリーフレットをA6判16ページで3000部作成した。著作権保護の観点から展示室内の大部分が撮影不可であること、本展オリジナルグッズが少ないことを考慮し、作品画像を通常よりも大きく掲載し、ビジュアル資料として活用できるようにした。内容、ボリュームともに好評だったが、2020年度秋の収蔵品企画展「西洋の木版画展」と同様に、図録の販売を希望する意見も見られた。					
	広報	普段美術館に足を運ばないライト層にアプローチするために、パトリック・コールフィールドのビビッドな作品をメイン画像に選び、インパクトのあるポスター・ちらしを作成した。アンケートでも好評で、メイン画像をきっかけに初めて来館したというコメントも複数あった。また雑誌やウェブサイトなどプレスからの反応も良く、展覧会の特集記事の中には300超のリツイートで拡散されたものもあった。会期後半にモーリス・ドニの出品作が東京新聞のカラー紙面で大きく掲載されたことも、さらなる観覧者増に繋がった。					
	宣伝	春の特別展に続き、TwitterとInstagramで広告配信を実施した。アンケートではHPやポスター、ちらしが主な情報入手元となっているため、SNS広告の効果については今後見極める必要がある。それでも本展はビジュアル先行のSNSであるInstagramとの相性が特に良く、前回よりも高い広告クリック率で効率よく運用できた。また本展ではSNSのアクティブユーザーである高校・大学生の割合が従来よりも高く、来館者全体の約7%を占めた。任意回答のアンケートでは結果が表れていないものの、SNSによる展覧会周知に一定の効果があったことが推測される。					
	ディスプレイ	大型作品を効果的に展示するため、作品と作品の間隔を広くとった。300字程度の簡潔な文章を心がけ、解説を付ける作品も厳選したところ、シンプルで要点が分かりやすいと好評だった。ただ、撮影可能作品の案内パネルについては紛らわしいという意見があったので、より理解しやすい案内を今後検討したい。ハンス・ベルメールの裸体画を含むコーナーは、可動壁とカーテンによるゾーニングを行ったが、特に大きな問題やクレームは発生しなかった。					
	イベント	記念講演会、室内楽コンサート、ギャラリートークを実施した。記念講演会は、近代西洋の室内画に詳しいお茶ノ水女子大学の天野知香教授に出演を依頼した。室内楽コンサートは当初、展示室内で実施することを計画していたが、新型コロナウイルス対策でソーシャル・ディスタンスを確保するために、会場を広い講堂に変更した。ギャラリートークは予定通り展示室で実施したが、ひとつの場所にとどまらないように心がけて実施したため問題は生じなかった。イベントの告知や当日の運営は、担当学芸員の他に2名の職員で分担して効率よく行うことができた。今後の展覧会関連イベントについても、作業を分担する体制を整えたい。					
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーター割引、タクシー割引、パスポート割引、シェアサイクル割引を実施し、441名の利用があった。 ・シルバーデーの利用者数は着実に増えており、本展では1回のみの実施で211人の利用があった(木版画展は2回の実施で322人が利用)。さらなる定着に向けて、広報活動を続けていきたい。 						

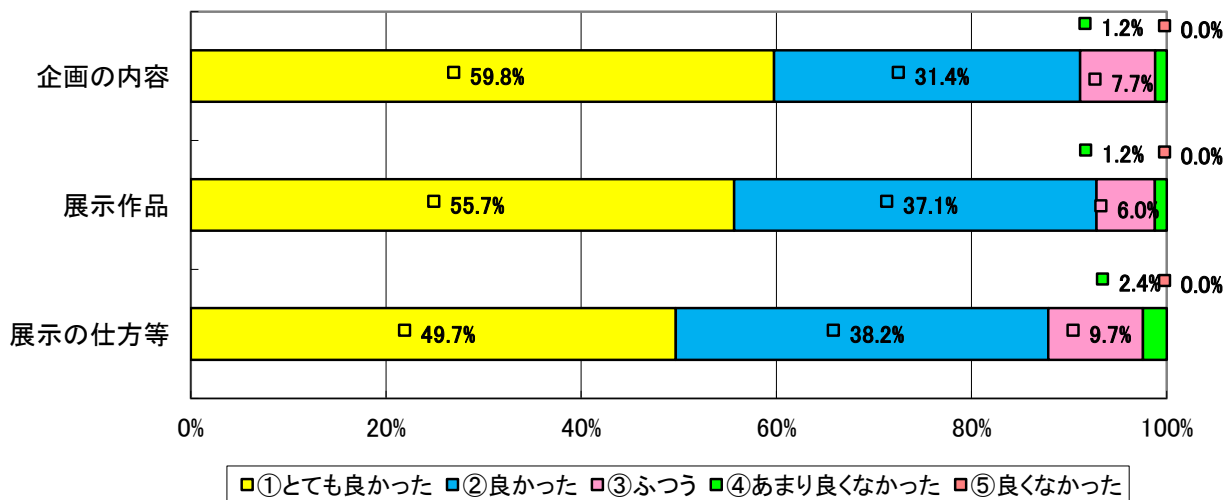
「アーティストたちの室内画」・「草間彌生」展
アンケート集計結果

開催期間：室内画-2021年3月13日（土）～4月11日（日）
草間彌生-2021年1月5日（火）～4月11日（日）

回答者数：169人（総入館者数：3596人 アンケート回収率：4.7%）



⑥ 回答者の満足度



⑦ 主なご意見・感想

◆内容について

- ・部屋というテーマが社会性にも合っていて面白い
- ・テーマ、作品ともに想像の強さを実感させ魅力的だった
- ・今の状況で見る企画展としてとても考えさせられた
- ・コレクションの魅力を十分に伝える好企画
- ・あまり見る機会のない作品があったのでとてもうれしかった
- ・あまり美術館にこない人間だがポップな作品もあり楽しめた
- ・シュールなのや刺激が強いのもあって幅広かった

◆会場について

- ・文字が大きくて読みやすかった
- ・床面の案内がわかりやすく、展示の間隔も見やすかった
- ・額表面の汚れが気になる
- ・描き方の説明もわかるような説明を部分的にほしい
- ・照明が少し暗かった
- ・もう少し撮影できると嬉しい

◆広報について

- ・ポスターがキャッチーでそのセレクトも良かった
- ・もっと宣伝してたくさんの人に見てほしい

◆その他

- ・冊子がしっかり作られていて驚いた。ボリュームを増やして図録でも良いと思った。
- ・シルバー料金を設けてほしい
- ・バスをもう一度運行させてほしい

2021年度国際版画美術館事業報告書【展覧会版】

展覧会名	#映える風景を探して—古代ローマから世紀末パリまで		担当者名	高野詩織、和南城愛理、藤村拓也			
会期	2021年4月24日(土)～6月27日(日) ※緊急事態宣言発出に伴い、4月25日(日)～5月31日(月)は臨時休館		開催日数	25日間 ※当初予定:56日間			
協賛・後援・協力	【助成】公益財団法人 花王芸術・科学財団						
巡回館	なし						
展覧会概要	「映える風景」をテーマに、16～19世紀のヨーロッパで制作された版画、挿絵本、油彩画、写真を展示する特別展。古代ローマの荘厳な遺跡や、神話の世界を思わせる森、賑やかなパリの市街地など、さまざまな場所をめぐるように構成した。それぞれの時代に流行した風景画の特徴や、その楽しみ方を紹介した。なお、本展は緊急事態宣言発出に伴う臨時休館のため31日間閉室し、関連イベントの中止および日程変更などを行った。						
ねらい・対象	印象派やバルビゾン派などに代表される西洋の風景画は、日本で特に人気が高い絵画のジャンルである。そのため従来の美術ファン層を第一のターゲットとし、首都圏近郊から版画美術館まで足を運んでもらうことをねらった。また第二のターゲットは、SNSに親しんでいる若年層である。「映える」という現代的な価値観と重ね合わせて風景画の歴史を辿ることで、キャッチーでわかりやすい展覧会を目指した。						
関連催事	催事名	開催日	タイトル	講師等	参加者数		
	プロムナード・コンサート	6月5日(土)	歌唱旅行 → 歌で巡る西欧の国々	奥村 浩樹(テノール)、鵜戸西 到(ピアノ)	120		
	赤ちゃんのための鑑賞会	6月9日(水)	おうちで版画美術館	富田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	13組27名		
	公開制作	6月12日(土)	#映える細密銅版画のつくりかた	尾崎 ユタカ(版画家)	51		
	記念講演会	6月19日(土)	パリの景観について	鹿島 茂(フランス文学者)	50		
	記念講演会	6月26日(土)	クロード・ロランと理想風景画—17世紀から19世紀へ	小針 由紀隆(元静岡文化芸術大学教授)	50		
	スライドトーク	6月20日(日) *5月2日(日)の第一回は中止	担当学芸員によるスライドトーク	当館学芸員 高野詩織	47		
観覧料	一般	大・高生					
	900 円	450 円					
観覧者数	有料計	無料計	総観覧者数	内、一般	内、大・高生	内、小・中生	内、その他
	2,773 人	1,306 人	4,079 人	3,753 人	226 人	100 人	— 人
	目標値						6,690 人
主な収入	観覧料収入	図録販売収入	受託販売収入	その他の特定財源			
	2,049 千円	580 千円	21 千円	1,000 千円			
事業経費	・講師謝礼 ・事業協力謝礼 ・通信運搬費 ・事業・業務委託 ・ポスター等作成委託料 ・ディスプレイ作成委託料		110千円 367千円 2976千円 1500千円 2964千円 1254千円		9,171 千円		
主な広報・取材等の講評	【テレビ】BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」、NHKエデュケーショナル「日曜美術館アートシーン」、多摩テレビ、JCOM、イッツコミュニケーション 【新聞】朝日新聞(全国版)、東京新聞(多摩版) 【ラジオ】エフエムさがみ 【雑誌】美術の窓 【Web】美術手帖WEB版、町田相模原経済新聞ほか						

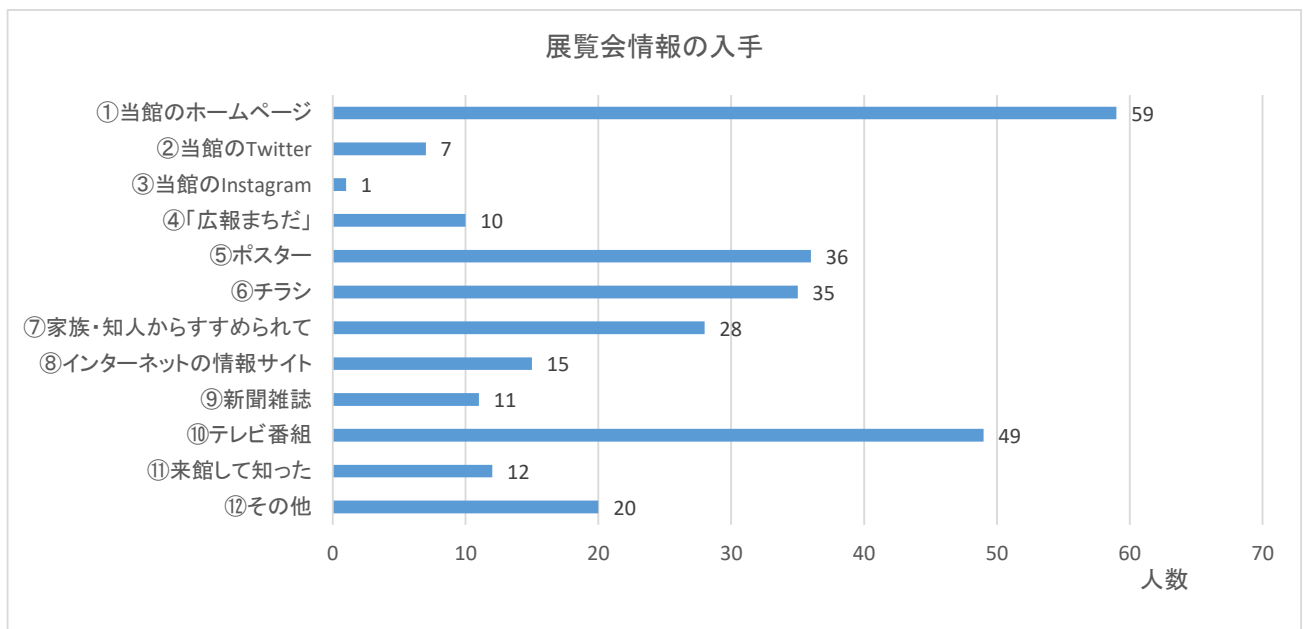
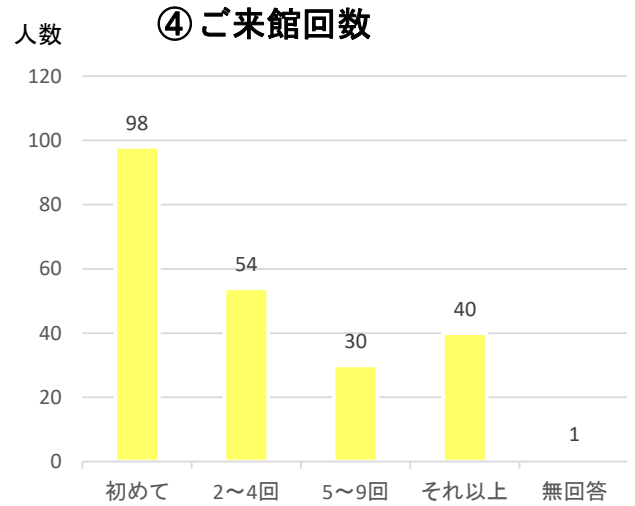
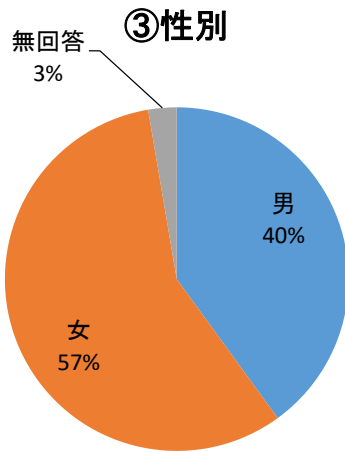
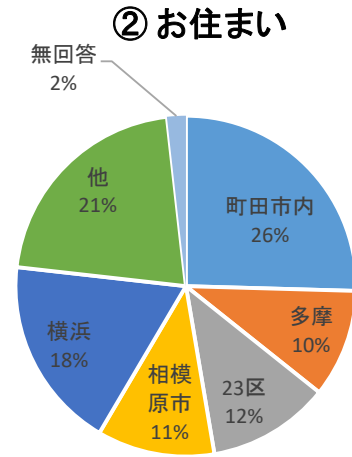
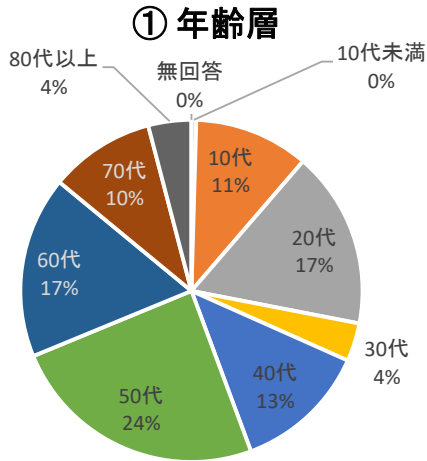
アンケート結果	回収数	回収率	市民率	リピーター率	満足度(とても良かったと良かったの率)		
					企画の内容	展示作品	展示の仕方等
	231 件	5.6 %	26 %	56 %	98.7 %	98.7 %	87.1 %
	主なご意見	別紙のとおり。					
工夫と反省点、改善方法	予備調査	2016年頃から企画を構想し、展覧会実現に向けた本格的な作品調査は2020年9月頃から開始。同年10月から他館への出品交渉も進めた。コロナ禍の影響で当初予定していた「版画の行方」展が中止となったため、本企画の実施は開幕の8か月前に決定した。予備調査を早期から進めていたものの、スケジュールは極めてタイトであった。					
	作品選択	当館の収蔵品を中心に、約300年にわたる西洋風景画の歴史を辿るように構成。フランス、イギリスを中心に様々な地域の風景を集めた。風景画は小さな作品が多いため、版画のみならず油彩画や写真、大型ポスターを出品し、展示が単調にならないように心掛けた。					
	図録	気軽に手に取ってもらえるように、B5変形判、192頁の小ぶりな図録に仕上げた。カラー印刷の作品図版ページには、短いコラムを25本掲載した。その他、作者作品解説、論文3本、年表、地図、参考文献を資料として掲載し、資料としても充実させることを目指した。年末年始を挟んだため印刷会社との業務委託契約が遅れ、図録の作成スケジュールが遅れたことは反省点である。今回は会計年度任用職員を含む計4名の学芸員で執筆を分担したため納期に間に合わせる事ができたが、今後は契約手続きを早めに進めるようにしたい。なお、会期中の図録販売数は263冊だった。					
	広報	「映える」というキャッチーなフレーズを展覧会タイトルに決め、特色インクを用いたビビッドな色遣いの広報宣伝物を作成した。テーマの目新しさから本展覧会はメディアの注目を集め、BS日テレの「ぶらぶら美術・博物館」、NHK Eテレの「日曜美術館アートシーン」の2番組で取り上げられた。番組をきっかけに西洋版画に関心を持つようになったという来館者も多く、本展を通じて「版画の力を知ることができた」という声も寄せられた。					
	宣伝	多摩地区を中心とする主要駅へのポスター掲示、市内の全小中学生へのチラシ配布を実施。展覧会ポスターの駅貼りは展覧会開幕直後・GW後の時期の2期に分けて実施したが、いずれも結果としては臨時休館の期間に重なった。それでも展覧会の情報元にポスターを挙げた来館者はアンケート回答者の約15%を占めていることから、宣伝効果は高かったと言える。掲出期間を長くしてリスクを分散させるなどして、駅貼り広告は今後も続けていきたい。					
	VR	版画美術館の主催展覧会としては初の試みとして、展覧会場のVRを作成した。作成の目的は、見どころをオンラインで配信することで臨時休館明けの展覧会再開について広く周知すること、芸術鑑賞の機会を市内外の人々に提供し、公立美術館として教育普及活動に役立てることにあった。VRの完成とほぼ同時期にプレス各社にメールで情報リリースをしたこともあり、この取り組みは読売新聞ほか複数のメディアに取り上げられて話題になった。今後もプロモーション活動および教育普及活動の一環として、作成の機会を探りたい。					
	ディスプレイ	展覧会テーマに合わせて、ポップな色遣いのパネルやキャプションを作成。コラムや解説は文字が小さいという意見も少なからず寄せられたが、文字量などは適当で「説明がわかりやすい」と概ね好評だった。また本展覧会では、通常の看板に加え、プロジェクターで投影するスライドショー式の撮影スポットもエントランスに設置した。					
	イベント	5月に予定していた公開制作、プロムナード・コンサート、記念講演会を延期した他、学芸員によるスライドトーク1回を中止とした。6月に開催したイベントはどれも盛況で、講演会とスライドトークには約50名が参加した。子ども向けの鑑賞イベントは、近年特に需要の高かった0～2歳の乳幼児のみを対象に実施した。市内から北海道まで幅広い地域から参加があり、参加者アンケートも好評だった。今後も子育て世代のニーズに応えられるイベントを企画していきたい。					
	作品輸送	首都圏を中心に6か所の美術館・図書館から資料を借用した。本展覧会と同時期に他の美術館でも西洋風景画展があったため一部作品がバッティングし、出品交渉に時間を要した。そのため輸送業者との契約に一部変更が生じたが、借用・返却の作業はスムーズに進行した。					
展示撤去	4月20日(火)から3日間で展示作業を行った。版画美術館では展示機会の少ない大型油彩画の展示作業に時間を要したが、係内4名の職員で分担して立ち会ったことで作業が効率化でき、全工程が時間内に終了した。今後も展示撤去には複数の職員が協力できるような環境を整えたい。						
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本展は、版画学会との共催展として当初予定していた「版画の行方展」を変更して開催したものである。 ・本展覧会の会期は全56日間を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の期間と重なったため25日間の開室となった。6月1日の再開後も外出の自粛傾向は続いたが、1日平均160名の来場(観覧者目標は120名/日)があり、コロナ禍の展覧会としては大いに賑わった。 ・各種の割引制度を導入した。利用者数は右記の通り; 200円引(リピーター割引)13名、100円引(ウェブクーポン割引、タクシー割引、パスポート割引、シェアサイクル割引)556名。 						

「#映える風景を探して」 展

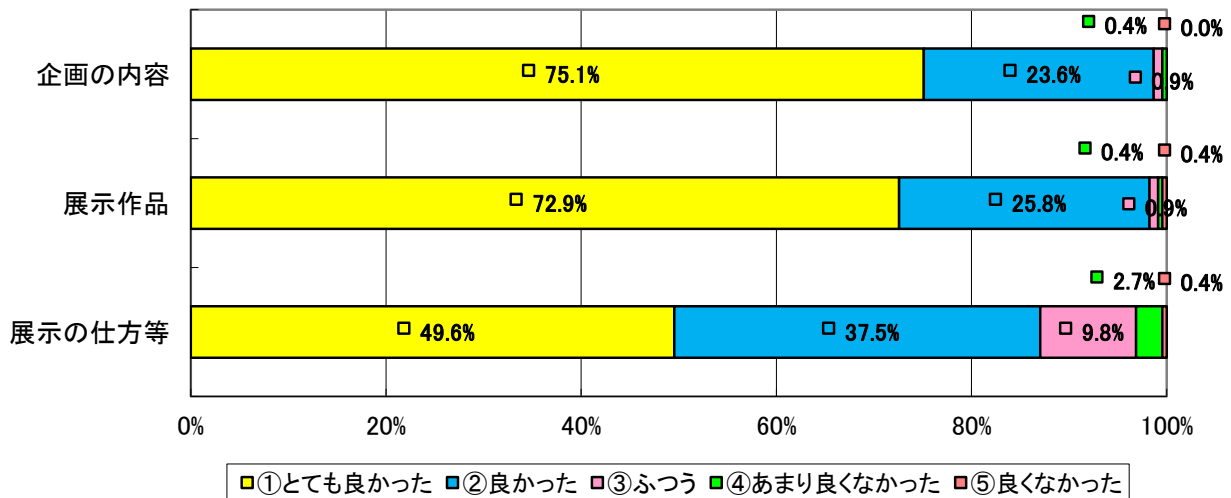
アンケート集計結果

開催期間：2020年4月24日（土）～6月27日（日）*4月25日（日）～5月31日（月）は臨時休館

回答者数： 231 人（総入館者数：4,079人 アンケート回収率：5.6%）



⑥ 回答者の満足度



⑦ 主なご意見・感想

◆内容について

- ・「映える」という言葉から企画する発想が面白く素晴らしい
- ・当時の人たちの知らない土地へのあこがれや、出会った時の感動が伝わるような展示でした
- ・時代背景まで書いてあるのが面白かったです ・旅をしているような気持ちになりました
- ・これほどレベルが高いのをコロナの中であつめられて大変ご苦労だったとも思います。すごい一言です
- ・エッチングや写真、絵画それぞれの意味が歴史的な流れとともに追うことができよかったです
- ・絵で知ってる人が、版画もしているのをはじめて知り見る事ができた
- ・「エジプト誌」に圧倒された
- ・版画の手法の違いをよく知らないなので、知りたいと思いました
- ・版画の力を知ることができた。また来たい。
- ・予想以上に展示数が多く、見ごたえがあった ・展示作品が少々内容薄と感じます。
- ・久しぶりに美術館に来ることができてとても幸せでした

◆会場について

- ・キャプションはもう少し大きい方がありがたい
- ・キャプションがわかりやすい ・説明がわかりやすい
- ・順路があってわかりやすかった。 ・導線がわかりにくいのに矢印？
- ・展示物が自分の影に入ってしまうところがあるので照明を工夫してほしい
- ・作品が高い場所にあり小さいのでよく見えませんでした。

◆写真撮影について

- ・スマホのカメラで作品を撮るのに熱中している人が多くて、シャッター音がうるさい。
撮影可能なものは3~4点くらいにしてほしい
- ・「音に気を付けてください」などの掲示をしてほしい
- ・フラッシュをたかなければ写真撮影可能なのもとてもありがたかったです

◆その他の要望

- ・ステレオ写真は実体視できるような展示がよい。スライドも映写したほうがよい
- ・最後に展示してある地図をプリントして配布するとわかりやすい
- ・トイレは温水洗浄式にして下さい！！
- ・シャトルバスを続けてください。
- ・他にも風景画の展示をもっと見たい

2021年度事業計画・普及事業 4～9月

資料5

1 版画講座

版画工房・アトリエにて開催される版画の講習会。様々な種類の版画を体験することができます。制作を通して版画の理解を深め、創作の楽しさを味わうことを目的にしています。子どもを対象にした講座では、版画美術館ならではの楽しい制作体験ができるよう工夫を重ねています。

事業名	対象	概要	実施日程	実施状況	定員 (当初予定)	参加延人数 (実績値)	小中学生 (実績値)	参加費	備考
1 一日教室	一般 (高校生以上)	版画の基本的な制作を一日で体験する。初心者から参加可能。 講師:馬場知子氏(銅版画)、小森琢巳氏(リトグラフ)	銅版画 ① 5/28(金) →3/4(金)	日程変更	8人	0人	—	3,000円	臨時休館により延期。
			銅版画 ②5/29(土) →3/5(土)	日程変更	8人	0人	—	3,000円	臨時休館により延期。
			リトグラフ ①9/3(金)		8人	8人	—	3,000円	
			リトグラフ ②9/4(土)		8人	8人	—	3,000円	
2 夏期子ども講座	小学4～6年生	「紙版画でつくるドキドキ海の大サーカス」 サーカス団となつていろいろな芸で楽しませてくれる海の生き物たちを紙版画で作る。東京学芸大学の学生と2日連続で実施した後、子どもたちの作品と指導をおこなった学生の版画作品を市民展示室で展示。	7/31・8/1(土・日) 作品展示 8/11(水)～14(土)		16人	28人	28人	2,000円	蜜を避けるため、プレス以外の工程をアトリエ、工房の両方を使用した。また活動時間を短縮した。

44人 28人

2 学校教育への協力

町田市内の学校を中心に、美術部の体験学習や学校単位での団体鑑賞、出張授業などをおこなっています。版画技法について教員からの問い合わせに答えたり、教員研修会への講師紹介・道具の貸出しなどもおこなっています。

事業名	対象	概要	実施日程	実施状況	参加延人数 (当初予定)	参加延人数 (実績値)	小中学生 (実績値)	参加費	備考
1 版画講座	中学、高校の美術部など	学芸員が版画の制作を指導。夏休みを中心に校外体験学習として例年は年間10校程度が来館。	都立小川高校美術部、都立田園調布高校美術部 リトグラフ実習 8/17(火),18(水),20(金)3日間	内容縮小 時間短縮	24人	18人	—	500円	緊急事態宣言発令中につき、活動時間を短縮。
2 教員研修会等への協力	町田市内の小中学校など	図工や美術の教員研修会に対して、会場の提供、講師の紹介、版画の道具の貸出しなどを行う。	町田市小学校教育研究会図工部夏季研修会 8/24(火)		40人	21人	—	無料	版画家常田泰由氏を講師に招き、モノタイプの版画の制作を実習。感染症対策のため市民展示室で実施

39人

3 作品展

講座で制作した作品による作品展を、館内の市民展示室等で開催します。作品を展示する機会を受講生に提供し、「発表する楽しさ」を経験してもらうことを目的としています。小中学校作品展では、美術館を会場とし美術館職員がかかわることで、より質の高い展示を目指しています。

事業名	対象	概要	会期	実施状況	出品状況	来場者数 (実績値)	小中学生 (実績値)	観覧料	備考
1 講座受講生作品展	どなたでも	「私たちのステップ・ワン 版画講座受講生と講師による展覧会」 2019、2020年度に実施した創作講座(長期講座)の受講生と講師による作品展。会場:市民展示室	5/26(水)～5/30(日) →6/30(水)～7/4(日)	日程変更	受講生25人(35点)、 講師4人(4点)	198人	15人	無料	臨時休館により日程変更
2 夏期子ども講座作品展	どなたでも	「紙版画でつくるドキドキ海の大サーカス展」 夏期子ども講座の受講生と指導をおこなった東京学芸大学の学生による作品展。会場:市民展示室	8/11(水)～14(土)		受講生14人(14点)、 大学生10人(14点)	193人	38人	無料	推定子ども率20%

391人 53人

4 イベント、コンサート

気軽に参加できるさまざまなイベントを実施することで、より身近な美術館となるよう努めます。

事業名	対象	概要	実施日程	実施状況	定員	参加人数 (実績値)	小中学生 (実績値)	参加費	備考
1 作家招へい事業	小学生以上	「#映える細密銅版画のつくりかた」 アーティストによる公開制作。企画展関連事業として実施予定。銅版画家尾崎ユタカ氏による実演と解説。	5/15(土)→6/12(土) 13:30～15:30	日程変更	30人	51人	2人	無料	臨時休館により日程変更 感染症対策の為会場をエントランスホールから講堂に変更。その結果定員増。
2 版画体験イベント①	小学生以上	「リトグラフを刷ろう！」 簡単な制作を通じて、版画の魅力が体験できます。企画展関連事業として リトグラフの刷りを体験。	5/1(土)→11/3(水・祝)	日程変更	30人	0人	0人	500円	臨時休館により日程変更
		「My landscape ー風景の手ぬぐいー」 さらしにスタンプを捺して、涼やかなミニ手ぬぐいを作る。企画展関連事業。	8/13(金)		48人	46人	35人	500円	
3 復刻浮世絵摺り体験	小学生以上	伝統的な道具と材料を使って黒一色の版を摺る。 企画展関連事業として実施。	7/24(土) ①13:00～14:30 子どもの巻(小中学生限定) ②15:00～16:00 大人の巻(5年生以上参加可)		①15人 ②10人	①15人 ②10人	①15人 ②12人	100円	
4 プロムナード・コンサート①	どなたでも	「歌唱旅行 歌で巡る西欧の国々」 奥村浩樹(テノール)、鶴戸西到(ピアノ)	6/5(土) ①13:00 ②15:00 各回30分		①70人 ②70人	①61人 ②59人	7人	無料	推定子ども率5%
		「音楽と風景」 ①玉川大学芸術学部 ②桜美林大学芸術文化学群音楽専修	9/11(土) ①13:00 ②15:00 各回30分		①65人 ②65人	①65人 ②65人	6人	無料	推定子ども率5%

372人 97人

5 版画工房・アトリエの一般開放

事業名	対象	概要	実施日数	実施状況	定員 (通常の70%)	参加人数 (実績値)	小中学生 (実績値)	使用料	備考
1 版画工房・アトリエの一般開放	版画制作経験者	版画工房とアトリエを開放し、創作の場を市民に広く提供。各種プレス機、腐蝕施設、ローラー等の備品のほかインクなどが使用できる。	50回実施 4/1～4/22(8回) 通常定員の70%で実施 4/25～5/30(13回) 臨時休館により休止 6/3～6/27(10回) 通常定員の50%で実施 7/1～9/30(32回) 通常定員の70%で実施	左記参照	銅版画7人 リトグラフ5人 スクリーンプリント5人 木版画2人	4/1～9/30 (50回) 1449人	—	半日:1,250円 一日:2,500円	銅版画610人 リトグラフ391人 スクリーンプリント315人 木版画133人

国際版画美術館 2022(令和4)年度 展示計画

	2022	3月	4月	5月
企画展示室 1	市美展 6(日)	12(土) 吉例浮世絵大公開! 江戸の滑稽—幕末風刺画と大津絵展 10(日)	23(土)	戦後日本 2つの民衆版画運動展
企画展示室 2				
常設展示室	IV期	奈良美智と版画のなかの子どもたち 10(日)	13(水)	I期
	6月	7月	8月	
企画展示室 1	3(日)	16(土)	長谷川潔展	
企画展示室 2				
常設展示室	3(日)	6(水)	II期	
	9月	10月	11月	
企画展示室 1	25(日)	8(土)	版画と写真展	
企画展示室 2				
常設展示室	25(日)	28(水)	第III期	
	12月	2023 1月	2月	
企画展示室 1	11(日)	22(木)	13(金) 小中学校作品展 19(日)	25(土)
企画展示室 2			新収蔵作品展 19(日)	
常設展示室	18(日)	22(木)	第IV期	
	3月	4月	5月	
企画展示室 1	5(日)	18(土)	21(日)	5/3土～
企画展示室 2				
常設展示室	12(日)	15(水)	21(日)	II期

※市美展(2023. 2/25[土]～3/5[日]予定)は当館が企画する展覧会ではありません。

2022 年度 町田市立国際版画美術館 普及係 事業予定

	定員	参加費
◆版画講座 創作講座 銅版画（10日間）	8人	30000円
創作講座 リトグラフ（10日間）	8人	30000円
銅版画一日教室（1日間）2回	8人	3000円
リトグラフ一日教室（1日間）2回	8人	3000円
木版画一日教室 <年賀状>（1日間）2回	15人	3000円
	定員	
◆子供講座 子ども講座（1日間）2回	15人	1000円
夏期子ども講座（講座2日間 + 作品展示4日間）	16人	2000円
	参加見込数	
◆学校対象 版画講座 年5校程度	50人	500円
出張授業 年2日程度	150人	無料
	来場見込数	
◆展 示 講座受講生作品展	200人	無料
夏期子ども講座作品展	200人	無料
町田市公立小中学校作品展	14000人	無料
	来場見込数	
◆イベント 版画体験イベント 年3回	各回48人	500円
アーティストによる公開制作（作家招へい事業）	50人程度	無料
プロムナードコンサート 年4回	各回 140人程度	無料
ゆうゆう版画美術館まつり（友の会と共催）2日間	5000人程度	無料
◆その他 来館記念スタンプ		無料
	利用見込数	
◆一般開放 版画工房・アトリエの一般開放 124日	3884人	半日1250円